

ラーニング・サポーター ♪ 2月のつぶやき -JWUラーニング・コモンズさくらより-

図書館 2 階 JWU ラーニング・コモンズさくら(以下「さくら」と略)では、学科・専攻推薦を受けたラーニング・サポーター(本学大学院生・学部 3、4 年生)が学修相談を受け付けます。学修相談以外にもミニ講座の開催や「さくら」の活動支援をしながら、感じたこと、思ったことを「つぶやき」、本学学生の皆さんに学修相談に訪れてもらいたいと思っています。ラーニング・サポーターは「さくら」で皆さんをお待ちしています！

<2月のつぶやき♪INDEX>

- p1 埼玉県の穴場スポット 3 @史学科サポーター(大学院博士課程前期 1 年) 2月4日 up
- p2 展覧会開催決定 @被服学科サポーター(大学院博士課程後期 1 年) 2月9日 up
- p2 とある院生の春休みの過ごし方 @数物科学科サポーター(大学院博士課程後期 2 年) 2月16日 up
- p3 博物館の特別展 @史学科サポーター(大学院博士課程前期 2 年) 2月16日 up

つぶやき 1 ♪

埼玉県の穴場スポット 3

皆さん、いかがお過ごしでしょうか？テストやレポート提出は無事に終わりましたか？2月に入り、いよいよ春休みとなりましたね。新型コロナウイルスの影響もありますが、中には小旅行に行く方もいるのではないのでしょうか？そこで、今回は恒例となりつつある、埼玉県の穴場スポットをまた一つご紹介します。

今回ご紹介する場所は埼玉県さいたま市大宮区にある「鉄道博物館」です。東京からのアクセスも良く、比較的訪れやすい場所だと思います。ここは JR 東日本創立 20 周年記念事業のメインプロジェクトとして、2007(平成 19)年 10 月 14 日に開館しました。現在は館内を車両・歴史・仕事・科学・未来の 5 つのテーマに分け、多彩な切り口で人と鉄道の豊かな物語を展開する博物館となっています。

この最大の魅力は何と言っても車両の多さです。車両ステーションには、明治～昭和にかけて活躍した蒸気機関車や客車、御料車、新幹線など、ここでしか見られない総勢 36 両の車両が勢揃いしています。まさにタイムスリップしたかのような気分になり、初めて見る車両に私は興奮しました。またここでは転車台回転・汽笛吹鳴実演も行われます。転車台が回転し、当時と同様の迫力ある汽笛を聞くことが出来ます。音の大きさには本当に驚かされます。そもそも蒸気機関車の汽笛を聞いた事がない方、ぜひ聞きに来てほしいです。

さらにもう一つの魅力として「鉄道ジオラマ」についてもご紹介します。ここでは、線路の総延長は約 1,200m、総数約 1,400 両からセレクトした HO ゲージの模型車両(新幹線 1/87、在来線 1/80 サイズ)が迫力いっぱい駆けめぐります。なかでも東北新幹線 E5 系「はやぶさ」と秋田新幹線 E6 系「こまち」の切り離しと連結シーンが模型で見られます。さらに都市部の通勤路線を再現した複々線の線路には、3 つの駅が間近に設けられ、1 つのエンドレス(環状線路)上を 2 本の列車が追いつきそうになりながらも安全に走る様子も再現しているようです。普段の生活では知ることの出来ない電車の魅力を外の視点から感じられ、とても面白いです。

博物館には他にもたくさんの魅力が詰まっています。大人でも、そして電車に興味がない方でも、誰でも楽しめると思います。是非一度訪れて見てください！

～参考 URL～

・「鉄道博物館」ホームページ(最終閲覧日:2022 年 2 月 4 日)

<https://www.railway-museum.jp/>

文学研究科 史学専攻 修士 1 年

【専門分野】
日本中世仏教史(星供と呼ばれる法会について研究を行っています。)

【サポート内容】
履修相談、参考文献の探し方、レジュメ・レポートの書き方 など…

【取得資格】
中学校教諭一種免許(社会)、高等学校教諭一種免許(地理歴史)

何かお困りのことがありましたら、
お一人で考え込まず、お気軽に
ラーニング・サポーターのところへお越しください！

つばやき2♪ 展覧会開催決定

春休みが始まり、皆さんはどのような日々を過ごしているのでしょうか？私は必要以上に自宅から出ないように心がけているため、最近はSNSを見る頻度が今まで以上に多くなりました。

そんな中、延期となっていた「メトロポリタン美術館展 西洋絵画の500年」と「ドレスデン国立古典絵画館所蔵 フェルメールと17世紀オランダ絵画展」の開催が決定した、というニュースを目にしました。

被服学科で服飾史を学んでいる学生さんにとって、メトロポリタン美術館はなじみある館だと思います。ここは「衣装部門」と呼ばれる部署があり、レースや靴を初め多数の実物衣装を保管しており、それらはオンラインで閲覧することができるためです。興味がある方はぜひ、「メトロポリタンミュージアム 衣装データベース」と検索してください。ここに所蔵された2500点ほどの絵画から日本初公開のもの数十点が展示され、中には「人殺しの画家」の異名を持つカラヴァッジョ、「光と影の魔術師」レンブラント、印象派の代表であるルノワールなど様々な画家の作品があります。

もう一つのフェルメールのほうでは、なんといっても「窓辺で手紙を読む女」が楽しみですね。この絵画は修復をした結果、殺風景であった後ろの壁に天使が現れたことで話題となりました。フェルメールが製作後、何かが上から塗りつぶして天使を隠してしまったというエピソードは興味深いです。

春休みとは、夏や冬の休みとは違って試験や課題に追われることがない自由な休み期間だと思います。どのように過ごすかは人によって違いますが、自分の好きなことに打ち込める貴重な期間であることは間違いないのではないでしょうか？

2、3月を通して様々な展覧会が開催されます。皆さんはどの展覧会を訪れるのでしょうか？

つばやき3♪

とある院生の春休みの過ごし方

大忙しかった1月も終わり待ちに待った春休みになりました。まだまだ気軽に遠出ができない昨今ですが、年度内の授業も終わりやっとならぬ春休み。思う存分、楽しんでください。

今回は、私の春休みの過ごし方についてつぶやきます。私は現在、博士課程後期2年生ですが、博士課程前期とは異なり1年を通して授業はありません。中には「毎日が長期休み」と捉える人もいますが、実際はそんなはずはなく、研究に没頭する日々を送っています。

そんな院生でも長期休みには楽しみにしていることがあります。それは、研究集会です。「長期休みののに研究するの？」と感じる方も少なくないでしょう。私も学部時代はそう感じていましたし、正直、研究集会への参加は苦痛でした(笑)ではなぜ、そんな私が研究集会を楽しみに感じられるようになったのでしょうか。

まず大前提として、研究集会へ参加することは、研究成果を学外の研究者に発信するだけでなく「新たな研究発表の場を自ら掘り取りに行くこと」だと、私は考えています。自身の研究発表を通して、様々な分野の研究者から質問やアドバイス、コメントをもらうことができれば万々歳です。それだけ他の研究者の興味をそそる発表ができたのですから、研究へのモチベーションは爆上がりです。


さらに、キャンパスから一歩でも踏み出せば、そこには、普段は接することが少ない研究者との出会いが広がっています。私も様々な研究集会を通じて「切磋琢磨できる仲間と環境」を得ることができました。

人間生活学研究科
生活環境学専攻 博士1年

★所属
・文学部史学科 卒業
・家政学研究科被服学専攻修士 卒業
・人間生活学研究科生活環境学専攻 所属

★研究分野
・西洋服飾史(主に18世紀フランスの貴族社会)、服飾美学
研究テーマはボンパドゥール侯爵夫人と18世紀フランスにみられる宝石彫刻

★一言
学芸員・博物館資格の授業を履修中
大学院への進学、勉強の仕方、今までと違った学校生活など
悩んでいる皆さん、どうぞお気軽に♪




所属：数理・物性構造科学専攻 博士課程後期 2年

研究分野：非線形偏微分方程式、数理モデルなど

取得資格：中学校専修免許状(数学)、
高等学校専修免許状(数学)

数学の質問や、学生生活に関する学修相談など
お気軽にどうぞ♪お待ちしております！



また、国内外の研究集会への参加には移動がつきものなので、新幹線の窓から眺める景色やお土産の購入、時間に余裕があればプチ観光できるのも楽しみの1つです(あくまで、おまけです)。

ここには書ききれませんが、大学院生活での楽しみは他にも沢山あります。少しでも気になった方は、JWU ラーニング・commons さくらに遊びに来てください。いつでもお待ちしております。

つぶやき4♪ 博物館の特別展

年が明けてあっという間に2月になってしまいましたね。つい先日も雪が降るなど、まだまだ寒い季節が続きます。体調管理に気を付けていきたいです。

さて、今月のつぶやきは東京国立博物館の平成館にて現在開催されている特別展「ポンペイ」についてお話していきたいです。ポンペイという都市は皆様ご存知でしょうか？おそらくですが、高校の世界史の授業で習ったことがある

かもしれません。ポンペイはイタリア中南部カンパーニア地方、ナポリ湾東岸、ベズビオ火山南麓にあった古代都市です(『ブリタニカ国際大百科事典』より)。そしてポンペイと聞いて真っ先に思い浮かぶのは火山によって被害を受けた場所ということではないでしょうか？ポンペイは紀元79年8月24日にベズビオ火山大爆発で、降りかかる隕石や火山灰が一瞬にして5~20mの高さまで積もったことにより壊滅しました(『ブリタニカ国際大百科事典』より)。そして長い年月を経た後、遺跡の発掘が進められ、大半が復元されている場所になります。

私も初めてポンペイの存在を知ったのは高校の世界史の授業です。火山の噴火によって埋もれてしまった古代都市が発掘により発見され、時代を越えて姿を現していることに興味を持ちました。普通であれば1世紀そのままの状態で見ることができないと思います。けれどポンペイは火山灰で埋まっていたためにその姿を見ることが出来ます。自然の脅威を忘れることはできませんが、当時の歴史や文化、生活等を知ることが出来る貴重な場所だと思います。まだ私も本展示に行くことはできていませんが、会期中に必ず行きたいと思っています。今回の展示で写真だけでなく、実際に見ることができるため、今からとても楽しみです。

文学研究科 史学専攻 修士3年

◇専門◇
日本中世の仏教史。特に寺院の法会について研究しています。

◇取得資格◇

- ・中学校教員免許(社会科)
- ・高校教員免許(地理歴史科・公民科)
- ・専修免許状(取得予定)

◇主なサポート内容◇

- ・資料の探し方
- ・レポート・レジュメの書き方
- ・大学院進学について
- ・教員免許取得の相談 etc...

~JWUラーニング・commons さくらをご利用する皆さんへ~

普段の授業では中世の史料や江戸前期の史料等を読んでいます。
私の専攻は日本史ですが、様々な相談をラーニング・commonsでは受け付けておりますので、どうぞお気軽にご利用下さい！



ラーニング・サポーターのつぶやき (2022年2月)
 ホームページ https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc_ls.html
 編集: JWU ラーニング・commons さくら